

夢追塾第9期生「折尾まち歩き」開催

歴史遺産の中で未来を語る

- ☆夢追塾9期生の4つのプロジェクトのうち、Bチーム「若者と織りなす×(クロス)石炭ロード」チームの「歴史遺産の中で未来を語る場プロジェクト」のキックオフが、4月18日(土)「折尾まち歩き」として開催されました。
- ☆当日は晴天のもと、60名余の参加者が折尾の生涯学習センター折尾分館に集い、主催者代表蒔田さんの折尾の街再開発への熱意あふれるプレゼンの後、3チームに分かれて折尾の町散策に出かけました。
- ☆折尾駅東口の堀川看板前で「堀川再生の会・五平太」中村会長からの概要説明の後、堀川沿いの飲食街から折尾中間線、堀川車返しの切貫き跡、舩石、くぐり橋、荒牧邸、ねじりまんぼ、遠賀疎水碑、岡山直道頌徳碑などの歴史遺産をたどって、未来に残すべき遺産が手つかずのまま残っている現状を体感しました。
- ☆会場に帰着した参加者には、折尾名物「餃子兄弟」の餃子が配られ、舌鼓を打ちながら、いま体感してきた折尾の町の遺産を未来に残すアイデアを出し合い、形にすることを誓い合って、お楽しみの「角打ち会」に三々五々目指す酒屋に散らばっていきました。
- ☆折尾駅は日本初の立体交差駅ですが、いま開発の真っ盛りで、線路高架後は筑豊本線と鹿児島本線がほぼ平行になってしまうため、日本初の立体交差駅の歴史を「汽車道」として残し、近代化産業遺産の堀川運河に代表される石炭ロードから、学生の街への発展を目的に街おこしを展開する事を誓いあいました。
- ☆なお、9期生の他のチームは、Dチームが「空き家で夢創造」を4月12日に実施したほか、Cチーム「サウンズアイ」は5月24日、Aチーム「ハッピーゴールド」は7月に、それぞれキックオフを予定しています。これらについては後日「同窓会だより」で順次お知らせしていく予定です。

文と写真:6期広報委員 溝田幸男



受付風景



参加者でいっぱい会場



蒔田さんのプレゼン



同窓会の先輩も応援



折尾駅東口で説明



堀川沿いを散策



車返しの切り貫き跡



筑豊線と並行する堀川



ねじりまんぼ



帰着後の討議風景



熱弁で提案する先輩達

